

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局 都市整備課  
担当課長名：赤星 健太郎

|                          |   |   |   |           |       |            |
|--------------------------|---|---|---|-----------|-------|------------|
| 事業名                      | 都市計画道路 <small>なかおおのなかがち まつがおか</small> 中大野中河内線（松ヶ丘工区）  |   | 事業区分  | 街路        | 事業主体  | 茨城県<br>水戸市 |
| 起終点                      | 自：茨城県水戸市姫子1丁目 ~ 至：茨城県水戸市西原2丁目   |   |   |           | 延長    | 0.796km    |
| 事業概要                     | 都市計画道路中大野中河内線は、水戸市・ひたちなか市・那珂市を結ぶ「水戸勝田環状道路」の一部を形成する主要幹線道路であり、県と各が一体となって整備している重要な路線である。松ヶ丘工区は、赤塚駅南北の通過交通を分散させ、交通の円滑化を図るものである。   |   |   |           |       |            |
| H10年度事業化                 | S44年度都市計画決定   | H11年度用地着手   | H 年度工事着手  |           |       |            |
| 全体事業費                    | 61億円  | 事業進捗率   | 32%   | 供用済延長     | 0.0km |            |
| 計画交通量                    | 20,800台/日   |   |   |           |       |            |
| 費用対効果分析結果                | B/C (事業全体) 6.6<br>(残事業) 11.6  | 総費用 (残事業)/ (事業全体) 34/60億円<br>事業費：34/60億円<br>維持管理費：0.06/0.06億円 | 総便益 (残事業)/ (事業全体) 396/396億円<br>走行時間短縮便益：373/373億円<br>走行経費減少便益：19/19億円<br>交通事故減少便益：3.9/3.9億円 | 基準年 平成19年 |       |            |
| 事業の効果等                   | ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される）<br>・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する）他4項目該当  |   |   |           |       |            |
| 関係する地方公共団体等の意見           | 本市をはじめとする4市3町1村の首長で構成される水戸地方広域市町村圏協議会において早期整備の要望を行っているところである。また、地元からも早期整備の要望がある。  |   |   |           |       |            |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等  | 見和・赤塚周辺における土地区画整理事業及び再開発事業等の拠点開発により、周辺道路の交通混雑が激しくなっている。   |   |   |           |       |            |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等          | 幹線市道23号線から国道50号までの用地取得が概ね完了している。<br>残事業は、JR常磐線周辺から幹線市道23号線までの用地取得と道路及び橋梁の工事等となっている。   |   |   |           |       |            |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 用地取得に時間を要しているが、幹線市道23号線から国道50号までの用地取得が概ね完了したことからこの区間については平成20年度に工事を行い、供用を図る予定である。今後については、JR常磐線周辺から幹線市道23号線までの用地取得を鋭意進めたい。   |   |   |           |       |            |
| 施設の構造や工法の変更等             | 再生材（砕石、As）の利用によりコスト縮減を図る。   |   |   |           |       |            |
| 対応方針                     | 事業継続  |   |   |           |       |            |
| 対応方針決定の理由                | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。   |   |   |           |       |            |
| 事業概要図                    | <p>The map illustrates the project route (Nakanobu Nakaguchi Line) connecting various roads and stations. Key features include:                 <ul style="list-style-type: none"> <li>Route from Akiyama Station (赤塚駅) to Maebashi Station (水戸駅).</li> <li>Key roads: National Route 50 (国道50号), National Route 123 (国道123号), and various prefectural roads (e.g., 幹線市道20号線, 幹線市道21号線).</li> <li>Stations and landmarks: Akiyama Station (赤塚駅), Maebashi Station (水戸駅), Maebashi University (常磐大学), and Maebashi Elementary School (梅が丘小学校).</li> <li>Other lines: JR Maebashi Line (JR常磐線), Maebashi Line (赤塚馬口労線), and various bus routes (e.g., 赤塚出張所).</li> </ul> </p> |   |   |           |       |            |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。